

推進方向 3

市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実

現状と課題

多様な市民の学ぶ意欲に応じた学習機会の場を提供するために、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実を図る必要があります。

文化関連施設については、公民館や市立図書館、市民文化センター、市民ギャラリーなど、施設・設備の経年劣化や社会環境の変化にあわせ、施設の大規模なリニューアルや設備の改修・更新などを行ってきました。

また、スポーツ関連施設については、昭和 45 年（1970 年）の「スポーツ都市宣言」に基づき、「市民皆スポーツ」の視点から、スポーツセンターリニューアルをはじめ、総合武道館、温水プールなどの屋内スポーツ施設、市民球場、青葉陸上競技場、サッカー場、テニス場等、多種の屋外スポーツ施設の整備を進め、設備の充実や機能性の向上などを行ってきました。

社会教育施設の大半が設置から 20 年以上経過しており、バリアフリー化や環境に配慮した設備の改修など、市民に一層親しまれる施設の維持管理を行っていく必要があります。

取組概要

今後も市民が安全で快適に利用できるよう施設・設備の更新・改修を計画的に推進し、市民ニーズに応じた機能の充実に努めます。

推進方向３における取組方策と主要事業の体系

推進方向３

市民ニーズに対応し、安全で快適に利用できる社会教育施設の充実

【取組方策３-１】市民ニーズを反映した、社会教育施設の機能の充実

＜主要事業＞ 「社会教育施設整備事業」

【取組方策３-２】安全で快適に利用ができるよう、施設や設備の計画的な改修・更新

＜主要事業＞ 「文化施設整備事業」

＜主要事業＞ 「埋蔵文化財センター整備事業」

＜主要事業＞ 「スポーツ施設整備事業」

＜主要事業＞ 「青少年会館管理事業」

【取組方策 3 - 1】

市民ニーズを反映した、社会教育施設の機能の充実

市民ニーズを反映した社会教育の場を形成するとともに、市民サービスの向上を図るため、社会教育施設の機能の充実に努めます。

（主要事業）：「社会教育施設整備事業」

市民ニーズを反映しながら、社会教育施設の機能の充実に努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
社会教育施設（ハード）に関する利用者からの改善意見件数	34 件	34 件以下	34 件以下	34 件以下

＜前期計画期間の取組＞

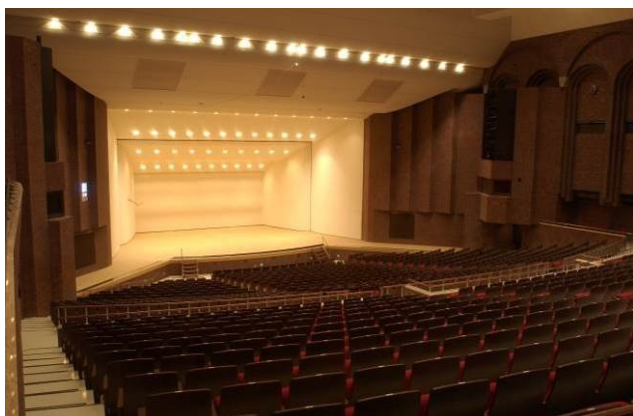
社会教育施設としては、市民文化センターや市民ギャラリー、市立図書館、公民館などの文化施設と、スポーツセンターや総合武道館、市民球場、青葉陸上競技場、温水プールなどのスポーツ施設があり、平成 26 年度の施設利用者は約 116 万人に達しています。

これらの施設については、利用者アンケートや意見箱により把握した意見や要望を踏まえながら施設機能の充実に図りました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
社会教育施設（ハード）に関する利用者からの改善意見件数	55 件	78 件	76 件	73 件

＜後期計画における事業概要＞

生涯学習活動の多様化に伴い、社会教育施設の利用方法も多様化が進んでいることから、施設の設置目的と整合性を図りながら、市民ニーズを反映した社会教育施設の機能の充実に努めます。



【取組方策 3 - 2】

安全で快適に利用ができるよう、施設や設備の計画的な改修・更新

利用者が社会教育施設を安全で快適に使用できるよう、施設の耐震化やバリアフリー化、設備の更新などの改修を計画的に推進します。

(主要事業)：「文化施設整備事業」

文化施設の設備等の更新・改修を計画的に進め、利便性・安全性の向上に努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
文化施設の設備等に関する 利用者の満足度(市民文化セ ンター・市民ギャラリー)	80.5%	83%	85%	85%

<前期計画期間の取組>

市民文化センター、市民ギャラリー、市立図書館、公民館の各施設は設置から 20 年以上が経過し、設備等の経年劣化が進んでいることから、設備の更新改修を実施しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
文化施設の設備等に関する 利用者の満足度(市民文化 センター・市民ギャラリー)	81%	86%	86%	92%

<後期計画における事業概要>

各施設とも設置から 20 年以上が経過しており、改修や更新が必要となる設備が増加傾向にあり、必要性や優先度を勘案しながら計画的に改修や更新を実施します。

また、耐震化やバリアフリー化、老朽化への対応や環境に配慮した設備の改修等が必要な施設があることから、これらについても、今後の施設のあり方について検討を進めます。

(主要事業)：「埋蔵文化財センター整備事業」

郷土の自然・歴史・文化にふれ、学ぶことができる安全で快適な場の整備に努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
埋蔵文化財センターの整備を一層推進します	新埋蔵文化財センター業務開始	入口・廊下の暖房機器設置、屋根の防水シート交換、外壁改修工事を実施します	大昔の生活体験施設を整備します	成果指標廃止

<前期計画期間の取組>

平成 22 年度の埋蔵文化財センター開設以降、屋上防水シートの全面更新を行ったほか、施設の使用状況に合わせて様々な整備を行い、来館者の利用環境と、収蔵・展示する文化財の保管環境の改善を図りました。

<後期計画における事業概要>

主に次の施設改修、設備更新を行い、展示見学などの来館者に安全で快適な利用環境を提供するとともに、収蔵、展示する文化財の適切な保護、保存に努めます。

- | | |
|--------------------|------------------|
| (1) 埋蔵文化財センター外壁改修 | (2) 旧長都小中学校焼却炉撤去 |
| (3) レクチャールーム冷暖房機設置 | (4) 高圧受電設備機器更新 |



(主要事業)：「スポーツ施設整備事業」

スポーツ施設の計画的な改修を行い、安全性及び快適性の維持と向上に努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
スポーツ施設に関する 利用者の満足度	80.2%	83%	85%	90%

<前期計画期間の取組>

スポーツセンター、武道館、温水プールなどの屋内スポーツ施設、市民球場、青葉陸上競技場、サッカー場、テニス場などの屋外スポーツ施設のほか、学校プール等の既存施設の改修を実施しました。利用者アンケートを実施し利用者の満足度や要望の調査を行っており、スポーツ施設の総合的な満足度は 90%以上の高い水準で推移しています。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
スポーツ施設に関する 利用者の満足度	91%	94%	94%	94%

<後期計画における事業概要>

平成 23 年度から満足度は 90%以上の高い水準で推移しており、今後も施設の改修や要望への取組を継続して行うことで高い満足度の維持に努めます。

このことから、目標値を当初設定した 85%から 90%に上方修正し、スポーツ施設の安全性と快適性の維持とさらなる向上に努めます。



(主要事業)：「青少年会館管理事業」

青少年の活動の場となる施設の整備に努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
青少年会館の主な年間 修繕・改修件数	3 件	3 件以下	3 件以下	3 件以下

<前期計画期間の取組>

青少年会館は、設置から 45 年以上が経過し設備等の老朽化が進んでいることから、施設及び設備の修繕を実施しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
青少年会館の主な年間 修繕・改修件数	2 件	2 件	3 件	2 件

<後期計画における事業概要>

引き続き、青少年の活動の場となる施設として、安全で快適に使用できるよう必要な修繕等を実施し、施設の維持・管理に努めます。

